



2021年10月14日

各位

会社名株式会社 ロコンド
代表社名 代表取締役社長 田中 裕輔
(コード番号：3558 東証マザーズ)
問合せ先 管理本部 ディレクター 田村 淳
(TEL：03-5465-8022)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年10月14日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年4月14日に公表いたしました通期業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正 (2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,000～12,500	百万円 850～1,500	百万円 850～1,500	百万円 567～1,000
今回修正予想 (B)	10,300	1,000	1,000	700
増減額 (B - A)	△1,700 ～△2,200	150～△500	150～△500	133～△300
増減率 (%)	△14.2～△17.6	17.6～△33.3	17.6～△33.3	23.5～△30.0
(参考) 前期実績 (2021年2月期)	10,275	1,438	1,448	1,295

(注) 取扱高は2021年10月14日「2021年2月期 第2四半期決算説明資料」で公表しましたとおり215億円を見込んでおり、当該取扱高を基に売上高を予想しております。

2. 業績予想の修正の理由

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が不透明である事を踏まえ、4月14日時点では範囲を持たせた業績予想数値を掲出させて頂きました。

しかしながら4月25日に発動された緊急事態宣言が想定以上に長期化し、緊急事態宣言が終了した9月30日までの間、外出自粛によって当社の主力商品である靴の需要が大きく影響を受け、通期の取扱高及び売上高の予想数値は前回予想の下限値を下回る見込みとなりました。

反面、費用面では限界利益率と固定費のコントロール施策が効果をあげているため、営業利益・経常利益・当期純利益は前回予想値の範囲内に収まっております。

今回は、取扱高・売上高の下方修正、及び緊急事態宣言も終息し、事業の見通しに関する不透明さが低減した事に伴い、通期の業績予想を修正することと致しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上